



この成果報告は  
競輪の補助を受けて報告しています。

会員各位

2021年6月吉日  
一般社団法人 日本歯車工業会  
JGMATEプロジェクト  
委員長 池滝 重隆

## 一般社団法人 日本歯車工業会

### 「次世代鋼材測定・評価手法開発プロジェクト」 (略称：JGMATEpj)

### 2020年度事業報告

当工業会の企画事業であります「次世代鋼材測定・評価手法開発プロジェクト」JGMATEプロジェクトに関しまして多大なご理解とご協力を頂きましたことを心からお礼申し上げます。本事業は、機械装置の性能を支える歯車用鉄鋼材料の品質を効率的且つ適正に評価できる新開発の測定装置を基に実使用鋼材のフィールドでの有用性を担保するための新評価法確立と合わせて、当該の評価法を日本製機械装置の性能向上と鉄鋼品質安定化に寄与し、国際競争力を高める強力な武器とすることを目的に、将来の新JIS規格原案作成をめざして、平成28年度より活動してまいりました。

JGMATEプロジェクトは本年度で5年目を迎え、当初の予定では昨年度末発行したJGMA規格のJIS規格化及びデータ蓄積のための硬度測定を継続することで、JKA補助金申請を行う予定で進めてまいりましたが、下記理由により達成が難しいと考えられ、申請については辞退することと致しました。

1. JIS規格としてはデータ数が不足している。
2. 開発に携わった測定装置メーカーが本事業より撤退したため、他の測定器メーカー候補を探してきたが見つからない。
3. 新型コロナウイルス感染が拡大し、当工業会を取り巻く経済状況が悪化している。

従いまして、当分の間、本事業で開発した測定装置を活用して各種材料の硬度測定を実施し、JIS規格化のためのデータの蓄積に努めて行く所存です。

尚、測定装置につきましては代替機製作メーカーの発掘を今後も継続してまいります。

また、本年度皆様よりご依頼のありました硬度測定件数は極端に少なく、データ蓄積と言うほどには残念ながら至りませんでした。硬度測定につきましてはHPのバナー「JGMATEプロジェクト事業報告」の「鋼材を調べてみませんか」に掲載しておりますので、引き続き会員企業の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上